# 令和元年11月22日亀岡市教育委員会会議録

- 1 開会 午前 9時00分 閉会 午前 10時10分
- 2 出席委員

神 先 宏 彰 教育長

関 吉 廣 教育長職務代理者

江口昌道委員

北村真也委員

末 永 礼 子 委 員

出藏裕子委員

福 嶋 百合子 委 員

3 欠席委員

なし

4 出席事務局職員

片 山 久仁彦 教育部長

國 府 美 幸 次長兼総括指導主事

亀 井 鶴 子 教育総務課長

土 岐 泰 久 学校教育課長

伊豆田 晃 正 社会教育課長

鵜 飼 均 歴史文化財課長兼文化資料館長

平 田 米 蔵 学校給食センター所長

谷 仁志 図書館長

海老原 睦 教育研究所長

石 田 和 久 教育総務課主任

5 傍聴者

1名

- 6 議事の大要
- (1) 開会
  - ○教育長が開会を宣言。

# (2) 前回会議録の承認

令和元年10月17日に開催した定例会の会議録を一部修正して承認した。

## (3) 教育長からの報告

○教育長から以下の報告があった。

### ◎亀岡市関係

- ・出雲大神宮例大祭に出席し、たいへん厳かな雰囲気の中で歴史を感じる大祭 であった。
- ・市障害福祉施策推進協議会に出席し、障がい福祉施策にかかる次期計画等 について協議した。
- ・ 亀岡祭宵々山・宵宮・本祭が開催されたが、本祭の山鉾巡行はあいにくの 雨で中止となった。 準備に御尽力いただいた方にとっては残念であった。
- ・市ラグビーフェスティバルが、タグラグビーの子どもたちも一同に会して 開催された。
- ・市健康づくり絵画入賞者表彰式をガレリアかめおかで行い、教育長賞の表 彰を行った。
- ・今年度2回目の市総合計画策定推進委員会が開催され、進捗状況や今後の 取組みについて協議した。
- ・つつじヶ丘小学校から亀岡中学校に進学している地域の保護者に小中連携・小中一貫教育の取組について説明を行った。
- ・中学校給食をめざす会とのこん談を市長とともに行い、それぞれの立場から 意見交換した。選択制デリバリー弁当の状況もみながら検討していきたい。
- ・市・市教委・環境事業公社・ソフトバンクで事業連携協定締結式を行った。 ソフトバンクの Pepper を導入し環境学習を行うもので、吉川小学校で公開 授業を行った。来年度は各小学校に巡回する予定である。
- ・市子ども自転車大会が京都府予選会をかねて開催され、千代川小学校が優勝した。閉会式において、東京オリンピックの会場の関係で来年の全国大会が中止となるアナウンスがあり、子どもたちはたいへん残念がっていたが、京都府大会の連覇を目指して頑張りたいとのことであった。
- ・名誉市民である谷口義久氏と上田正昭氏の肖像レリーフ除幕式と市自治振 興式典がガレリアかめおかで開催され出席した。
- ・「光秀ゆかりのまち亀岡俳句大賞」表彰式が京都御苑内閑院宮邸跡で行われ 出席した。

- ・市小学校駅伝(持久走)大会を30回の記念大会として実施した。全国女子駅伝の優勝チームの一員で区間賞もとった城西小学校の卒業生が、先輩からの言葉として激励した。
- ・千歳町丹波七福神宝船まつりと保津ふるさと文化祭がそれぞれ開催され、 ステージ発表や模擬店など多彩な催しが行われた。
- ・人権フェスティバルが人権福祉センターで開催され、発表等が賑やかに行われた。
- ・校園長会議を開催し、神戸市の教員間のいじめ事象を踏まえ、危機管理の 周知徹底と人間関係を見極めて声かけすることの大切さを訓示した。
- ・市優良職員表彰式が行われ、勤続15年・20年・25年の職員が表彰された。
- ・市さわやか教室の第5講座で文化祭を行い、素晴らしい作品の展示とステージ発表が行われた。

## ◎国・府等の関係

- ・京都先端科学大学創立 50 周年記念式典・祝賀会が開催され、小泉純一郎元 総理大臣の講演等が行われた。
- ・近畿都市教育長協議会研究協議会が滋賀県長浜市で開催され、近年の教育 行政や今後の課題などが協議された。
- ・府市町教育委員会研修会に教育委員とともに出席し、教育行政の諸課題の 理解を深め、教育長や教育委員としての責務についての研修が行われた。
- ・石田梅岩先生開講 290 周年記念講演会が京都市で開催され、たいへんわかり やすい講演が行われた。
- ・市町村教育委員会研究協議会が鳥取市で開催され、教育委員とともに出席 した。全国の取組みを聴く中で今後の参考になった。
- ・口丹波2市1町持ち回りで行われる府視覚障害者社会教育指導者研修会が、 今年は亀岡市で開催された。指導者としての資質向上を図る研修会などであった。
- ・府中学校駅伝競走大会で東輝中学校が準優勝となり、12月1日滋賀県で 開催される近畿大会に出場する。
- ・南丹教育局管内教育長会議が開催され、教職員の人権意識の向上や危機管理について、また生徒指導事象や令和2年度人事異動方針などが示された。
- ・京都丹波ふれあいキッズ駅伝が丹波自然運動公園で開催され、園部小学校が 優勝、亀岡川東学園が準優勝と健闘した。
- ○教育長からの報告を受けて、委員から次の質問があった。 <京都丹波ふれあいキッズ駅伝について>

末 永 委 員 亀岡川東学園の人数規模で準優勝はすごいこと。義務教育 学校において中学校教諭からの指導が活きているのか。

教 育 長 学校全体での取組みとして、走ることに対して子どもたち が嫌がらない、楽しみながら走る雰囲気づくりが指導でき ている。

## (4)議事

議案番号	件名
第14号議案	亀岡市教育振興基本計画~かめおか教育プラン~(令和元年度改定版)の決定について

○第14号議案について教育部長が議案説明を行った。

第14号議案は、現在の亀岡市教育振興基本計画の計画期間が令和2年度 末までとなっているが、次期教育振興基本計画と市の次期総合計画との整合 性を図るため、現計画期間を1年間延長し、令和3年度末まで延長しようと するものである。また、計画期間の延長に伴い、これまでの内容の変更はし ないが、目標設定の表記をあらためて見直す中で精査も行い、新たに令和3 年度末の目標数値の設定を行い、「亀岡市教育振興基本計画~かめおか教育プ ラン~(令和元年度改定版)」とするものである。

○説明を受け、委員から次の意見があった。

出 藏 委 員 学校図書標準冊数達成率が小学校は 0.1%の増加に対し、 中学校は 11%の増加になっているのはなぜか。

教育総務課長 標準冊数はその年度の学級数によって変動するものであるため、学校図書を整備していても達成率が下がる場合もある。小学校は平成28年度に92.9%であったが、現在は減少している状況である。中学校では平成28年度に80%であったが、現在は86.4%となっている。このような状況から、令和3年度の目標達成率の増加幅に小・中学校で差が出ている。

江 口 委 員 学力の目標数値が点数で表され、より明確になったが、 ネガティブに考えると、目標に達成できない児童生徒の 配慮が必要であるのでお願いしておきたい。

関職務代理者 学力の目標数値について、表に出てくる数値はこの目標数値でいいと思うが、例えば平成25年度では目標に達成した学校数の資料があるので、手持ち資料として調査をしておいていただきたい。また、学校施設の耐震化率は100%で達成できたために目標項目から削除されているが、「目標4 安全安心で充実した教育環境の整備」では、エアコ

ンの整備やトイレ改修なども順次実施されていると思う。 実施していることが表に出てきていないのではないか。

教育部長

エアコンの整備については、今年度すべて完了し100%になるために目標数値としては設定していないところである。施設整備については課題があると認識しているが、学校規模適正化にも取組んでおり、児童生徒数の推移も見極めながら慎重に検討していかなければならない。次期計画では、施設整備についても計画を立てて盛り込んでいく必要があると認識している。

北 村 委 員

基本計画としては10年間の計画期間は長いと考える。 例えば働き方改革も平成25年には言われていなかった だろうし、教育の状況は10年で大きく変わる。5年前に 意味を持っていた目標数値の数字そのものの意味が変わ ったり、意味をなさなくなる時もある。数字だけがひとり 歩きして、指標として達成できていないなど言われないよ うに、数字だけでなく文言を添えることも次期計画には必 要ではないか。

教育部長

現在の教育振興基本計画は、当初、総合計画の終期とあわせて8年間の計画期間としていた。国の目安として計画期間は4,5年程度になっている。計画の期間については、次期計画の際には検討する必要があると考えている。

末 永 委 員

時代の変化が激しい中、計画策定中の間も教育の状況は動いていくのではないか。

数値目標については、これだけをみると亀岡市の教育が この指標だけで全部評価できるのかと見えてしまうこと は否めないと思う。6年間の進捗状況を踏まえとあるが、 未達成の部分に絞って目標を掲げるということを強調す れば理解しやすいのではないか。

出藏委員

「心の教育」は「地域学校協働活動」に名称を変えたのではないか。「就園奨励費助成制度」は今年9月で終了したのではないか。

教 育 長 末永委員と出藏委員の意見については、修正することで承 認いただきたい。

第14号議案について、文言整理を教育長に一任し承認した。

#### (5) 報告事項

- ①京都府中学校駅伝競走大会の結果について
- ② 亀岡市小学生駅伝(持久走)大会の結果について
- ③京都丹波キッズふれあい駅伝の結果について

- ④小・中・義務教育学校いじめ防止フォーラムについて
- ⑤特別展「明智光秀と戦国丹波」の開催について
- ⑥「昔の道具体験会」の開催について
- ⑦令和元年度1月教職員研修講座のお知らせについて
- ⑧サイエンスフレンズ学習クラブ(後期)の募集について
- ○課長等からの報告を受けて、委員から次の質問・意見があった。

<小・中・義務教育学校いじめ防止フォーラムについて>

江 口 委 員 5年目の事業になるが、効果や手ごたえはどうか。

教 育 部 次 長 子どもを対象とした取組みは学校でも実施しているが、このフォーラムは親子で参加することが特徴となっている。 親子で参加することにより家庭での話につながったり、また各学校に広がっているところは効果があると考える。

江 口 委 員 啓発や防止により、たえず意識づけすることが大事だと考 える。できれば参加型のフォーラムがよいと思うので提案 しておく。

<特別展「明智光秀と戦国丹波」の開催について>

江 口 委 員 文化資料館がリニューアルされるが、来場者数の目標や広報はどのように考えているのか。

文化資料館長 大河ドラマ館は年間50万人を目標とされている。大河ドラマ館の会期中に文化資料館の休館日は設けない予定であり、5,000人を目標とする。土曜日の昼の大河ドラマの再放送を文化資料館で御覧いただき、その後に学芸員が解説をし、ディスカッションする予定である。NHKとも調整しながら進めていきたい。

末 永 委 員 小・中学生が歴史を客観的にみる姿勢や歴史への興味を感 じるきっかけになればいいと思う。フィールドワークなど の学習プランを学校に提示して、無理のない範囲で来ても らえればいいと思う。

文化資料館長 せっかくの機会となるので、子どもたちが将来、亀岡を自 慢したり語ることができるような取組みになればと考えて いる。

### (6) その他

<運動会の組体操について>

教育部次長

教育委員会から方針を伝えているわけではない。安全については学校で意識して取組まれている。以前よりもピラミッドの高さを低くしたり、足がつく高さにするなど配慮している状況については確認している。事故やけがはないと聞いている。

関職務代理者

前年度からより良い取組みをすることで教師の中には達成感もある。保護者の中には、危ないからやめてほしいという意見もあれば、やり切ることで子どもの自信につながると感じる保護者もある。なかなか判断しにくく、学校も毎年同じ状況で実施してしまうことが懸念される。幸いこれまでに事故等はないが、何か起きるまでに一度検討してはどうかと思う。

教育部次長

現在、中学校では実施していない。小学校・義務教育学校は表現活動も取り入れながら15校が実施している。校長会とも協議しながら検討していきたい。

教 育 長

組体操の取組みに時間数を確保することが難しく、実施しなくなってきている。組体操は、教職員が全体を仕切って指示することや危機管理などの経験ができていたが、危険を回避して指導する経験が若い教職員にできなくなっている。 危険防止は事前にするべきだと考えるので、校長会とも連携をとって安全確保を指示していきたい。

# (7) 閉会

○教育長が閉会を宣言

以上